

ECO SYSTEM



見える上下水道、路上の橋

新しいエコシステムの実現に向けて

これからのJGMA活動は、多様なステークホルダーや社会により評価されます。社会から評価される将来価値を生み出すためには、これまでの業界枠を超え、多様なプレイヤーが保有している知見や技術、ノウハウを融合させ、結集させるエコシステムの構築が不可欠です。

JGMAは、取り巻く多くのプレイヤーの『異種の知』と対話を重ね、有機的な結合を繰り返すことで、革新的な将来価値を創出していきます。

2025年6月作成

3つのコンセプト



上下水道に欠かせない
グラウンドマンホールの黎明期を
**芽生えをイメージした
グリーン**で表し、

上下水道が整備され
市民生活が豊かになる様子を
**成長をイメージさせる
ブルー**で表し、

上下水道によって
**安心で安全な市民生活が
実現されるイメージを暖かい
オレンジ**で表現しました。

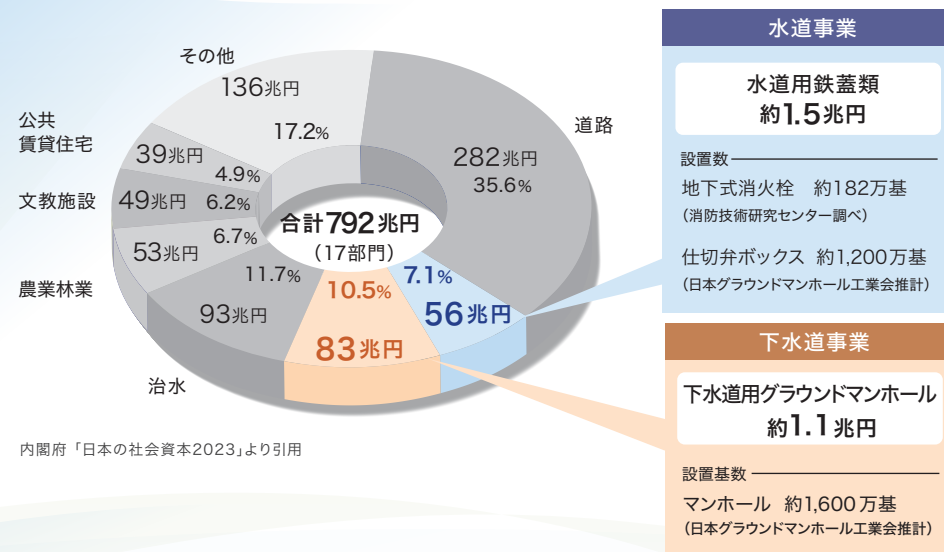
更に市民生活を支えるグラウンドマンホールと上下水道パイプラインが適切な維持管理によって無限に持続される様子を、**∞(無限大)**を2つ重ね合わせて表現しました。

上下水道インフラの現状

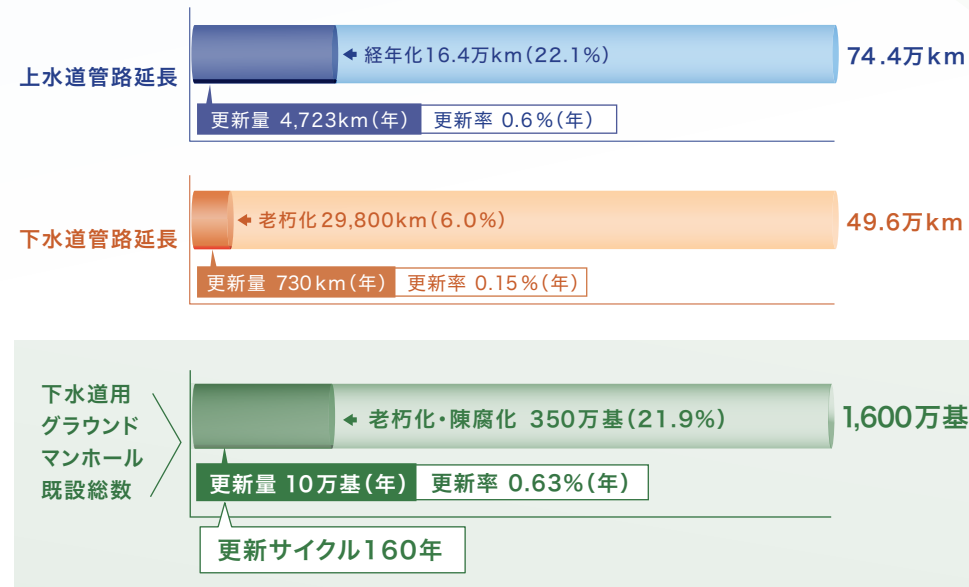
	上水道事業	下水道事業
地方公共団体数	1,719市町村 (27都道府県)	1,434市町村 (42都道府県)
全国の職員数	41,700人	25,700人
浄水場数 処理場数	9,131浄水場 (上水道、水道用水供給事業、消毒のみの施設も含む)	2,143 処理場
給水人口 処理区域人口 (人口普及率)	1億 2,290万人 (98.2%)	1億 118万人 (80.6%)
管路延長	約74.4万km (上水道 水道用水供給事業)	約49.6万km
うち老朽化の程度	管路経年化率 22.1% (※法定耐用年数40年を超えた管路)	管渠老朽化率 6.0% (※法定耐用年数50年を超えた管路)

R4水道統計、R4下水道統計、R4国土交通省資料、R3地方公営企業年鑑、R5総務省：地方公共団体定員管理調査結果より引用

主な社会インフラの生産的資本ストックの推計額



上下水道管路施設の老朽化と更新サイクル



R4水道統計、R4下水道統計、R4日本グラウンドマンホール工業会統計より引用